

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-190	16-010	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Not all non-drinkers with HIV are equal: demographic and clinical comparisons among current non-drinkers with and without a history of prior alcohol use disorders.</p> <p>HIV を有する非飲酒者は均一ではない：現在の非飲酒者におけるアルコール使用障害の既往の有無による人口統計学のおよび臨床的比較</p>		
執筆者		
Crane HM, Nance RM, Merrill JO, Hutton H, Chander G, McCaul ME, et al.		
掲載誌		
AIDS Care. 2017 Feb;29(2):177-184.DOI: 10.1080/09540121.2016.1204418.		
キーワード		PMID
HIV、遵守、アルコール使用、アルコール使用障害、物質使用		27482893
要 旨		
<p>HIV に罹患患者 (PLWH) に関する研究の多くは、現在の非酒飲者が以前のアルコール使用障害 (AUD) を有するかどうかを区別せぬまま、リスクのある現在飲酒者と比較してきた。本研究の目的は、現在の非飲酒者を AUD 既往の有無により区別して、それぞれの人口統計学のおよび臨床的特性を比較することにより、この両者 (AUD 既往なし・ありの 2 群) 区別せずに併合することの影響を理解することである。解析には 2013 年 1 月から 2015 年 3 月までの全米 6 地域のデータが含まれている。患者は、最も直近の評価を用いて、定期診療時に (iPad などの) タブレットを用いた臨床評価質問票への記入を完了した。現在の非飲酒者は、AUDIT-C score が 0 の者とした。また、電子カルテ (EMR) にて過去に AUD と診断され者、または臨床評価にてアルコール治療への出席を報告した者を、「AUD 既往者」と同定した。多変量ロジスティック回帰分析を用いて、以前の AUD に関連する因子を調べた結果、現在の非酒飲者 2,235 人の PLWH のうち、36% が AUD 既往者で、これは EMR よりも臨床評価で同定された例が多かった。AUD 既往者の多くは男性、うつ病者であり、AUD 既往なしの非飲酒者と比較し、現在の薬物使用を報告する者がより多かった。さらに過去の薬物使用も同様に多かった。[コカイン/クラック (AUD 既往あり 70% 対 AUD 既往なし 25%)、メタンフェタミン/クリスタル (49% 対 16%)、オピオイド/ヘロイン使用 (35% 対 7%)]。調整された分析では、以下の項目が AUD 既往有と関連していた：男性、過去のメタンフェタミン/クリスタルの使用、過去のマリファナの使用、過去のオピオイド/ヘロインの使用、過去および現在のコカイン/クラックの使用、およびタバコの使用。結論として、本研究は、日常的な臨床ケアにおける現在飲酒していない PLWH のうち 36% が AUD の既往を有していたことを見出した。AUD 既往のある人とない人では、薬物使用・うつ病といった人口統計学的・臨床的特徴の違いを認めた。以前の AUD の有無にかかわらず、主要な差異が見出された。これらの結果は、現在非飲酒者集団は均一ではなく、両者を区別することが研究において重要であること、以前の不適切飲酒行動 (アルコール依存症の治療を含む) の有無の確認を臨床診療の行動健康評価に含むべきであることを示唆している。</p>		